

スポット

三重のピカ1

三重県でピカッと輝く
企業を紹介します。



- 名称 / オキツモ株式会社
- 所在地 / 〒518-0751 三重県名張市蔵持町芝出1109-7
- 代表者 / 代表取締役社長 山中重治
- 事業内容 / 耐熱塗料、フッ素樹脂塗料ならびに機能性コーティング剤の製造販売
- コンセプト / 驚きと感動のものづくり
- 【URL】 <http://www.okitsumo.co.jp/>

ピカ1 塗料のもつ無限の力で快適な世の中に!

名張から世界へ

耐熱塗料をご存知でしょうか。普段は意識しませんが、調理器具や暖房器具、自動車やオートバイのマフラー、工場の設備、さらにはロケットの発射台にまで利用されており、私たちの生活には欠かせないものです。オキツモ株式会社は、このようにさまざまな場面で使用されている耐熱塗料の生産を中心として、国内シェアNo.1を誇ります。また200℃以上の温度域においても性能が落ちないシリコン系耐熱塗料は、なんと世界シェアNo.1。アジアやアメリカにも展開しており、国内だけでなく海外でも活躍しているグローバル企業です。



最高温度3000度から、ロケット発射台を守る分厚い耐熱塗料

塗料の特徴を生かして
いろんな製品に活用
しているんだね!

塗料ってこんなこともできるの!?

耐熱塗料はあらゆる製品を熱から守ります。しかし、オキツモの製品が持つ機能は、それだけにとどまりません。例えば、放熱用コーティング剤の「クールテック」。塗布した基材の放熱性を高め、基材自体の温度を下げるすることができます。半導体や電子部品に塗布されており、これらの正常な動作を支えています。このようにオキツモの製品は、耐熱というコア技術に加え、温度調節や光・熱コントロール、耐蝕、耐摩耗、さらには抗菌など、耐熱塗料にプラスアルファの効果をもたらしています。そして新たな効果を発見するため、日夜研究に励んでいます。



マジックで落書きした光触媒塗料(左)に太陽光を当ててみると、みるみる汚れが落ちていく

ご協力
いただき
ありがとう
ございま
した

左より坪井さん、八賀さん、大地さん

社名の「オキツモ」は、
万葉集に詠まれた名張の枕詞
「沖津藻」(おきつも)が元なんだよ。
地元への愛を感じます!



「グローバルニッチトップ企業100選」(経済産業省)

元気な中小企業

オキツモは、1998年にISO9001(国際品質マネジメントシステム規格)、また2001年にはISO14001(国際環境マネジメントシステム規格)を取得しており、製品の質に高い信頼が与えられています。また、2006年には中小企業庁より「元気なモノ作り中小企業300社」、2014年には経済産業省より「グローバルニッチトップ企業100選」に選出され、その取り組みが社会的に評価されています。これからもオキツモは、製品開発を通して驚きと感動を作り出し、世界のオキツモとしてグローバルスタンダードを目指します。

廣岡 寛貴(三重大学人文学部 4年)

ヨット部

活動は
日時 / 毎週土曜日、日曜日(終日)
活動場所 / 津ヨットハーバー(津市津興字港中道北370)



私たちは二人一組で操縦する「スナイプ」という船に乗って練習に励んでいます。ヨットレースという競技は、海にマークを打ち作成されたコースを、多数の船が同時にスタートして、いかに早くゴールにたどりつくかを競うものです。天気の良い日に海に出てヨットに乗るのは、陸上のスポーツには無い楽しさがあります。また、船のチューニングや、風向き、潮の流れ、海面の様子など、さまざまな要素を考慮して操縦する必要があり、一筋縄ではいかないのも魅力です。その反面、自然を相手にするので、練習の際にも必ずライフジャケットを着た上でレスキュー艇にも付き添っていただくなど安全に最大限の注意を払っています。

私たちの目標は、全国大会で国公立大学内のTOPを獲ることです。全日本学生ヨット選手権大会(インカレ)には4年連続で出場し、昨年度は16位という成績を収めることができました。今年も江ノ島で開催されるインカレに出場予定です。そんな私たちですが、実は部員のほぼ全員が大学からヨットを始めています。性別関係なく未経験でも活躍できるスポーツです。ぜひ一度ハーバーに来てみてください!



代表 堤 健太郎 (工学部情報工学科 4年)
【サイトURL】 <http://ameblo.jp/mie-yacht/> (ヨット部ブログ「あらよっと」)
【Facebook URL】 <https://www.facebook.com/mie.yacht>

災害ボランティア支援団体 マスネット MUS-net

活動は
日時 / 毎週水曜日 昼休み 及び 不定期
活動場所 / 教養教育校舎4号館2階ボランティアルーム



こんにちは、私たちは三重大学災害ボランティア支援団体MUS-net(マスネット)です。MUS-netは、国内で地震や台風などで被害が生じた時に、「何かしたい!力になりたい!」そう思っている三重大学の学生・教職員が、円滑に活動できるように支援したい...そんな思いで、東日本大震災が発生した2011年に結成したボランティア支援団体です。現在は1年生から4年生の約20名で活動しています。

私たちは、被災地でのボランティアと防災意識向上のためのイベント開催を二本柱として活動しています。最近では、宮城県の東松島市の仮設住宅で、お年寄りの孤立を防ぐため交流会を開催したり、学生や教職員に災害の恐ろしさを実感してもらうため、学内に地震体験車や煙体験ハウスを設置し、体験してもらう防災デーを開催しました。今年度は被災地の福島県の子どもたちと交流したり、鈴鹿市の小学生と防災マップを作成することを予定しています。

また、毎週水曜日のミーティングでは、企画の打合せとともに被災地や防災に関する勉強会も行っています。いつもワイワイやっています。興味のある方はぜひ一度遊びに来てください!



防災デーの地震体験車

代表 横井 文郁 (人文学部法律経済学科 3年) 村松 研登 (工学部建築学科 3年)
【サイトURL】 <http://musnet.seesaa.net/>
【Facebook URL】 <https://www.facebook.com/MUSnet2011>
【Twitter URL】 https://twitter.com/mus_net